

法律論叢第 79 卷 2・3 合併号

(野上修市教授古稀記念論文集)

2007 年 3 月 8 日刊行

掲 載 内 容 【論 説】	(頁数)
財産としての文化的景観 ——景観法との関係において——	縣 幸 雄 (1)
戦後補償に関する憲法的考察	石 川 多加子 (31)
フランスにおける違憲審査制と法律の条約への適合性審査の可能性	江 藤 英 樹 (67)
中世イングランドにおける子供の刑事責任能力	加 藤 哲 実 (89)
ドイツ動産譲渡法理における引渡・占有改定	亀 田 浩一郎 (129)
イタリアにおける労働者概念	小 西 康 之 (159)
消費税法三〇条七項における帳簿等の保存の意義と その立証責任の分配について	小 林 宏 之 (191)
良心の自由の原理的事例的研究	笹 川 紀 勝 (227)
アメリカにおける行政の民営化と私的デュー・プロセス論	下 川 環 (263)
憲法保障法としての教育基本法の意義	永 井 憲 一 (291)
吉野作造の憲政史研究 ——明治文化研究としてのその特質——	長 沼 秀 明 (309)
新会社法における株主平等原則の意義と機能	南 保 勝 美 (337)
国家賠償法上の相互保証主義をめぐる諸問題 ——相互保証の時期を中心に——	西 埜 章 (363)
憲法と新自由主義的教育改革	広 沢 明 (387)
脳科学の成果をめぐる自由意志論争と刑事責任 ——神経科学者と哲学者とのディベート——	増 田 豊 (425)
野上修市先生略歴及び主要著作目録等	(457)
野上修市先生のこと	玉 田 弘 毅 (475)